



ごあいさつ

院長 貝嶋 光信

早咲きの河津桜が満開を迎え、彼の地では春の足音が聞こえて来たようですが、当地はまだ路肩に雪がうずたかく、春とは遠い景色ですね。それでも日の出は6時27分、日の入りは17時09分（いずれも2月19日現在）と着実に日は長くなり、日差しも強くなって来たのを実感します。



さて年が明けて既に50日近く経過しましたが、テレビも新聞もニュースと言えは米国のトランプ大統領が主役です。時代が人を求めるとすれば、トランプ大統領の出現は間違いなくこの世界を新次元に導こうとしています。交通機関の発達や、インターネット、ITの進歩で世界は急速に狭くなり、政治も経済もグローバル化（世界の一体化）の流れは変えられないと多くの人が思っているところに、このトランプの出現です。これは偶然では無いのでしょうか。私は密かにトランプ氏がなにかの国内スキャンダルで失脚するのではと予想していますが、トランプ氏を必要とした人たちの声は消えることは無く、同時にEU離脱をした英国に始まる反グローバリズムの流れも止められないと感じます。これらの潮流が行き着き、行き詰まり、そして大きな揺れ戻しがあって… そうして歴史は作られていくのだと感じていますが、皆様はどうお考えでしょうか。

4月になれば病院もまた新たなスタッフを迎え再スタートです。北晨会恵み野病院をよろしくお願いします。



河津桜まつり:

<http://www.kawazu-onsen.com/sakura/>



サービス付き高齢者向け住宅「シャロームめぐみの」

病院敷地内禁煙のお知らせ

平成20年7月1日より、当院の病院建物内および駐車場、通路を含む

敷地内での喫煙は禁止となっております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



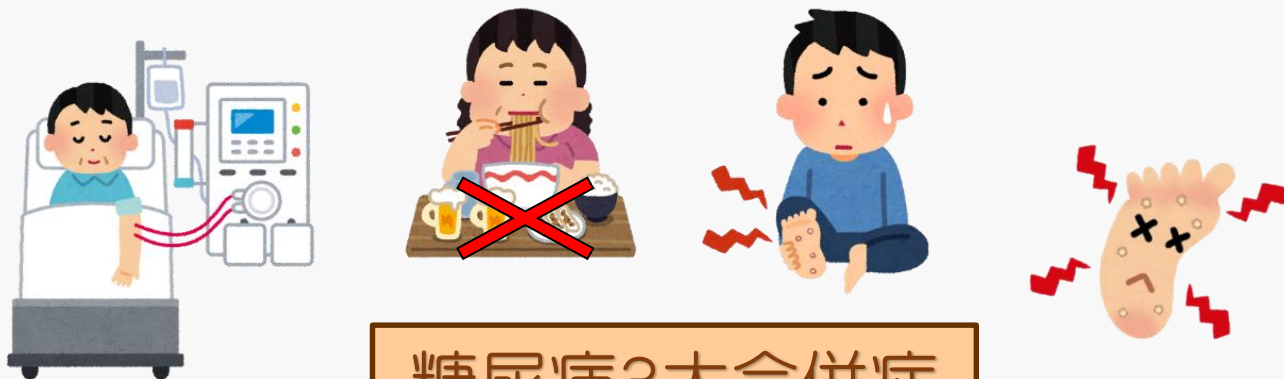
恵み野病院ホームページアドレス: <http://megumino.or.jp>



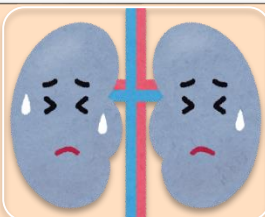
糖尿病とフットケアの関係 ご存知ですか？

北晨会 恵み野病院
糖尿病看護認定看護師 狩野梨佳

【糖尿病】と聞いて何を想像しますか？
「糖尿病になったら好きなものを食べられなくなる」
「人工透析や足壊疽で切断なんて恐ろしい」
こんな事を思っている方の話を耳にすることがあります。
しかし、正しい療養生活や治療を行えば糖尿病があっても健康な人と同じものを食べて普通の生活を送る事が出来ます。
ただし、血糖値が高過ぎる状態が長期間に渡ると【合併症】が起きる事があります。

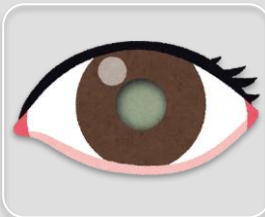


糖尿病3大合併症



糖尿病性腎症

(進行すると腎不全⇒人工透析)



糖尿病性網膜症

(白内障、網膜症、眼底出血、網膜剥離、失明など)



糖尿病性神経障害

- 末梢神経障害(足のしびれ、違和感、異常感覚、痛み、こむらがりなど)
- 自律神経障害(下痢、便秘、排尿障害、残尿、ED、発汗異常、起立性低血圧、無自覚性低血糖)



足病変はなぜ起こるの？

足の状況

神経障害がある

血流障害がある

皮膚の損傷（靴擦れ、水虫、やけど等）
身体防御機能の低下（高血糖状態）



足病変

生活状況
（普段履く靴、
足の清潔状態など）

全身の状態
（栄養、血糖、姿勢の変
化による足への負担等）

自分での手入れ

足切断に至る【足病変】は糖尿病合併症【神経障害】や【血流障害】を起こしている足の状況に、靴擦れ・水虫・やけど等の【皮膚の損傷】や高血糖状態による【身体防御機能の低下】などの要因が関連しあい発症します。

発症・重症化には【全身状態】【生活状況】【自分での手入れ】が要因として大きく関わっています。

自分での手入れ＝フットケア

自分での足の手入れの第一歩は 足をよく見ることです。
気になる症状や、傷などを見つけたら、家族や医療者に相談しましょう。

糖尿病外来では【フットケア外来】を行っています。
手入れの難しい方のお手伝いや、神経障害の有無を確認するテストなどをしています。
（毎水・木・金曜日午後、予約制、人数制限あり）
希望の方は 主治医もしくは看護師までご相談ください。



写真出典：糖尿病ネットワーク



恵み野地区 健康教室と交流会

2月16日に恵み野憩いの家で開催された「第21回恵み野地区むつみ会健康教室と交流会」の第一部として、当院 脳外科の貝嶋院長と、恵み野ケアサポート 高畠事務長が講演を行いました。

講演①「脳梗塞に罹らないために大切なこと」
貝嶋院長



講演②「地域包括ケアシステムってなあに？」
恵み野ケアサポート 高畠事務長

